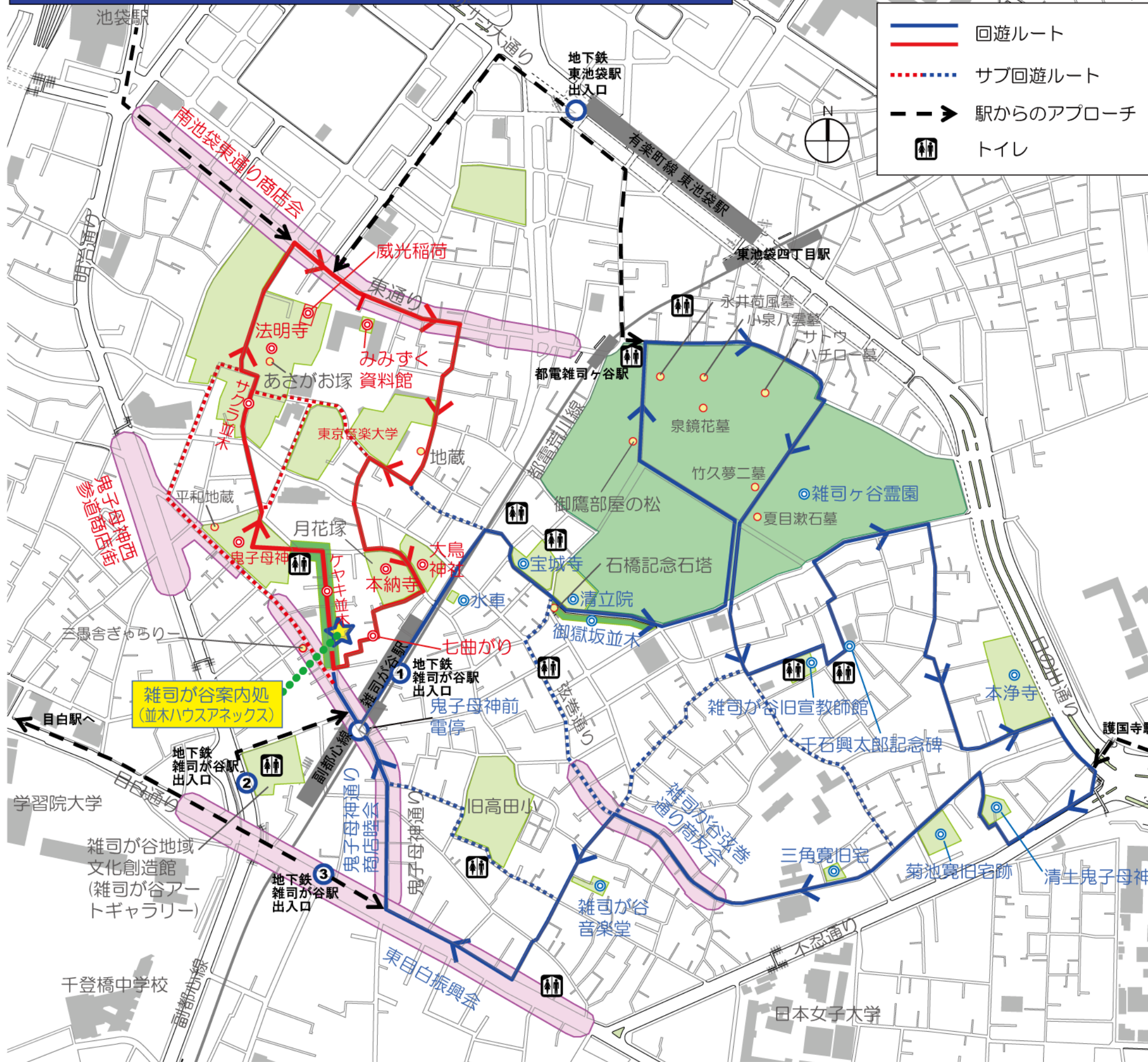


# 雑司が谷回遊マップ

<暫定版>



## 雑司が谷回遊コースの概要

- ・西回廊コース →
  - 雑司が谷案内処 (資料入手、展示見学等) →
  - ケヤキ並木 → 鬼子母神 (武芳稲荷、平和地藏、おせんだんご、上川口屋、大イチョウ) →
  - 法明寺サクラ並木 → 法明寺 → 威光稲荷
  - 南池袋東通り商店会 → みみずく資料館
  - 東京音楽大学 → 本納寺 → 大鳥神社
  - 七曲がり → 雑司が谷案内処 (出発点に戻る)

・距離：1.6km  
 ・所要時間：1時間半コース  
 歩行時間：35分  
 施設滞在時間：55分  
 合計時間：90分  
 \*見学・鑑賞・歩行時間のみ

- ・東回廊コース →
  - 雑司が谷案内処 (資料入手、展示見学等)
  - 鬼子母神前電停 → 水車小屋 → 宝城寺
  - 清立院 → 御獄坂並木道 → 雑司ヶ谷霊園
  - 旧宣教師館 (庭園散策、赤い鳥コーナー見学)
  - 千石興太郎記念碑 → 本浄寺 → 清土鬼子母神
  - 菊池寛旧宅跡 → 三角寛旧宅
  - 雑司が谷弦巻通り商友会 → 雑司が谷音楽堂
  - 東目白振興会 → 鬼子母神通り商店睦会
  - 雑司が谷案内処 (出発点に戻る)

・距離：3.6km  
 ・所要時間：2時間コース  
 歩行時間：70分  
 施設滞在時間：50分  
 合計時間：120分  
 \*見学・鑑賞・歩行時間のみ





### 法明寺

日蓮宗、威光山。創建弘仁元年（八一〇）、もとは真言宗のお寺でしたが、正和元年（一三一二）、日蓮聖人の弟子日源上人により改宗、現在の寺号に改められました。江戸時代から桜の名所として知られ、『武蔵国雑司谷八境』のひとつに「威光山法明寺花」と記されています。参道から山門に続く風情ある桜並木は、今も訪れる人の目を惹きつけてくれます。境内には、曲尺、算盤、天秤など度量衡の珍しい図案が彫られた梵鐘や酒井抱一筆の朝顔が描かれた鉢（あさがお）塚があり、また墓地には楠公息女の墓（姫塚）や豊島氏累代の墓があります。

### 雑司ヶ谷霊園

明治五年（一八七二）神葬墓地として開設され、明治七年に共葬墓地となった都営霊園です。面積約一〇万㎡の霊園内には、緑豊かな樹々や四季折々の草花が咲き、副都心池袋に隣接する区域とは思えないほど静かで落ち着いた佇まいを見せています。また、江戸時代、霊園西側に將軍家の鷹狩り用の鷹を飼育する御鷹部屋があり、今も緑の枝を広げる「御鷹部屋」にその名残を見ることが出来ます。



墓域内は著名人の墓が数多くあり、夏目漱石をはじめ、小泉八雲、泉鏡花、永井荷風、島村抱月等の日本文学史にその名を刻む作家たちや、漂流してアメリカに渡ったジョン万次郎、開明派の幕臣小栗上野介忠順、抒情画家竹久夢二、詩人サトウハチロー、自由学園を創設した羽仁もと子・吉一夫妻、言語学者金田一京助等錚々たる面々がこの地に眠っています。また、帝国大学で哲学を教え、漱石にも畏敬されたラファエル・ケールの墓は都の文化財に指定されています。

### 鬼子母神堂

天正六年（一五七八）の創建。清土（文京区目白台）から出土した鬼子母神像を祀るため、里人たちが叢林を拓いて堂を建てたのが始まりと言われています。現在の本殿は寛文四年（一六六四）に、前田利常の息女で安芸藩主浅野家に嫁した自昌院殿の寄進により建立されたもので、区内最古の建造物です。

江戸時代前期より、子授け、子育ての神様として庶民の信仰を集めてきました。本堂および鳥山石燕画「大森彦七図」、二代目鳥居清満画「三人静白拍子図」の絵馬は東京都有形文化財に指定されています。また、日蓮上人を供養する「お会式」は、今も毎年十月十六日〜十八日に行われ、枝垂れ桜を模した万灯が夜の街を練り歩く様はとても幻想的です。



### 大鳥神社

正徳二年（一七一二）、出雲松江藩主松平出羽守の嫡子が抱瘡にかかって高田村下屋敷で療養中、出雲鷺の浦から鷺大明神が飛来して救ったといわれ、以来ここに勧請したのが始まりと伝えられています。初め社は鬼子母神境内にありましたが、明治初年の神仏分離令により、大鳥神社と改称、ケヤキ並木付近に仮遷座し、その後、現在地を鎮座地として定め、日本武命を祭神として祀っています。権現造の社殿は昭和五六年に造営されたもの。毎年十一月の酉の市には、商売繁盛を願う人々で賑わいます。



### 清土鬼子母神

入口門前に「鬼子母尊神出現所」と刻まれた石標があり、永禄四年（一五六一）、柳下若狭守の下男山本丹右衛門が、清土の田から鬼子母神像を掘り出したと伝えられています。

境内には、池水に星影が不思議な光を宿して尊像の存在を知らせたとされる星跡の清水（三角井戸）や、「此道に出て涼しさよ松の月」と刻まれた芭蕉の句碑「涼月塚」。「安政の名のみ残りてうつし絵の花に香もなく鳥に音もなし」と詠んだ歌碑があります。



### 子授けイチョウとケヤキ並木

鬼子母神境内の大イチョウは、応永年間に植えられたものと伝えられ、樹齢六百年に及ぶ大樹は、子授けイチョウ、子育てイチョウとして親しまれてきました。秋の黄葉時には、あたり一面が黄金色に輝く落葉の絨毯になります。参道のケヤキ並木は、天正年間に雑司ヶ谷村の住人長島内匠が奉納したものとされ、樹齢四百年を数えます。大イチョウ、ケヤキ並木ともに、東京都の天然記念物に指定されています。往時の参道両側には、茗荷屋、蝶屋、武蔵屋などの料理茶屋が並び、『遊歴雑記』にその繁盛ぶりが記されているほか、歌川広重画「江戸高名会亭尽」など浮世絵にも描かれています。



### 本納寺

日蓮宗、妙永山。慶安三年（一六五〇）日相上人により開基されました。境内には、月と花を詠みこんだ狂歌二首が蜀山人の筆で刻まれた月花塚、雑司ヶ谷の地に長く住み、舞台芸術学院の初代学長を務めた秋田雨雀の墓があります。



### 清立院

日蓮宗、御嶽山。約七七〇年前、真言宗・清龍寺として創立。後に村を疫病から救った雲水が日蓮聖人像を寺に残したことから、日蓮宗・清立院と改められました。門の石段脇に「かさもり 薬王菩薩安置 清立院」と刻まれた石碑があり、雨乞いや皮膚病の祈願寺として尊崇されました。木彫毘沙門天像は区の文化財に登録されています。



### 威光稲荷

西暦八百余年、慈覚大師により堂宇が建立され、威光稲荷大明神を祀ったのが始まりと伝えられます。入口から朱塗りの鳥居が迷路のように続き、不思議な世界に迷い込んだような感覚が味わえます。



### 雑司が谷旧宣教師館

明治時代に布教のため米日したアメリカ人宣教師ジョン・ムーディ・マッケレブにより、明治四〇年（一九〇七）に自宅兼布教活動の拠点として建てられたもので、区内最古の木造洋風建築です。木造総二階建て、カーペンターゴシック様式を用い、屋根窓に半円アーチを施して下見板張りの外壁をもつこの建物は、十九世紀後半のアメリカ郊外住宅を基調としており、明治時代の我が国における外国人住宅の一つの典型と言えます。また、マッケレブは、敷地内に雑司が谷教会を建てたほか、布教活動の一環として、雑司ヶ谷学院や雑司ヶ谷幼稚園を開設し、青年たちへの英語教育や幼児教育活動を行いました。しかし、太平洋戦争前夜の昭和十六年、在日米大使館の勧告により帰国を余儀なくされました。昭和五七年、保存を訴える住民運動に応え区が土地と共に買いあげ、保存修理工事後、一般公開しています。

平成四年に区指定文化財、同十一年には東京都指定有形文化財に指定されています。

### 鬼子母神の参詣土産

江戸時代の鬼子母神参詣土産と言え、風車、麦わら細工の角兵衛獅子、川口屋の飴、そして今も受け継がれているすすきみみずくがあげられます。「川口の飴は照り降りなしに売れ」「風車子持ちの神が売り始め」「木兔になつてぶらぶら枯尾花」など、川柳にも詠われ、当時この風車を持って歩かないと鬼子母神詣ではないと言われるほど流行し、喜多川歌麿画の浮世絵にも風車を髪に挿した参詣客の姿が描かれています。また、角兵衛獅子やすすきみみずくは、貧しい孝行娘が母親の病氣快癒の願掛けに毎夜お参りしたところ、鬼子母神が表れ、そのお告げにより作り作り売ってしまったのが評判となり、幸せになったとの逸話が語り継がれています。



### 雑司が谷案内処

雑司が谷3-19-15  
星本ハウスアネックス  
電話03(6912)5026

### 地名の由来

雑司が谷の地名の起源については、①法明寺の雑司料であったため②小日向金剛寺の雑司料であったため③元弘・建武期に京都の朝廷で雑司の職をつとめた柳下氏・長島氏・戸張氏がこの地に土着し、その子孫も村民として残ったから④郡領等身分の高い人の子息の子を指す曹司等のはじめた土地だから等諸説あります。いずれにしても鎌倉時代以後に起こった地名であり、「雑司ヶ谷」に統一されたのは、八代將軍徳川吉宗が放鷹のため立寄った折、「雑司ヶ谷村」と書くべしとしたからと伝えられています。昭和41年の住居表示実施により、現在の「雑司が谷」に町名が変更されました。

### 弦巻川

弦巻川は、池袋の地名の由来と言われる丸池を水源とし、法明寺門前から清立院の方へと流れていた幅4mほどの川で、この川の辺りで源義家が弓の弦を巻き直したという伝説により、弦巻川と呼ばれるようになったと言われています。かつてこの川沿いは、夏は螢、秋は月と四季を通じての趣を楽しめたところで、江戸時代の雑司ヶ谷周辺名所八ヶ所に和歌を付した絵巻物『武蔵国雑司谷八境』にも描かれています。現在は暗渠化されており、大鳥神社境内に、その記念碑が設けられています。

- 一月 雑司が谷七福神巡り
- 二月 鬼子母神節分会
- 三月
- 四月
- 五月 旧宣教師館 ガーテンコンサート
- 六月 鬼子母神夏市 盆踊り
- 七月
- 八月
- 九月 大鳥神社例大祭
- 十月 お会式
- 十一月 大鳥神社酉の市
- 十二月 除夜祭

その他 みちくさ市、手創り市

\*散策の際は、自然や文化財を大切に、寺社・施設内では迷惑にならないようご注意ください。

